

電子情報通信学専攻	研究分野	インタラクティブ知能システム	Lab. ID EI31
研究室Webサイト	<a href="https://researchmap.jp/hajime-ikeda">https://researchmap.jp/hajime-ikeda</a>		
研究課題の概要			
<p>本研究室では、人工知能(AI)、センシング技術、データサイエンスを統合したインタラクティブ知能システムの研究を行い、資源開発および防災分野における実社会課題の解決を目指します。</p> <p>特に、「現場で活用可能なAI」をキーワードに、以下の研究テーマに取り組んでいます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) データ駆動型鉱山開発に向けた発破挙動の可視化・解析</li> <li>(2) 気象データに基づく雪崩発生リスクの予測AIモデルの構築</li> <li>(3) 画像解析を用いた吹雪・視程障害の定量評価</li> </ol> <p>これらの研究では、機械学習・深層学習に加え、センサ開発やフィールド実験を組み合わせ、データ取得から意思決定まで一貫したシステム設計に取り組めます。</p>			
博士前期課程/後期課程院生の指導方針、具体的なカリキュラム、研究室での活動等			
<p>博士前期課程/後期課程院生は、主任指導教員を中心に研究指導を受けることになります。週に1度、研究活動の進捗を報告し、問題についての議論、適宜アドバイスを受けることができます。</p>			
研究室生活の紹介等			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・センサ開発・実験・フィールド観測を含む実践的研究が可能です</li> <li>・GPUサーバ等の計算資源を利用可能です</li> <li>・企業・研究機関との共同研究により実データを扱えます</li> </ul>			
教員からのメッセージ			
<p>本研究室では、AI・センシング・XR・データ科学を基盤として、資源開発・防災といった社会的に重要な分野への応用研究を行っています。</p> <p>研究は単なる理論にとどまらず、「現場で使われること」を重視しています。</p> <p>企業や研究機関との共同研究を通じて、実社会に近い環境で研究に取り組むことができます。</p> <p>AIをツールとして使うだけでなく、「社会課題を解決するためにAIを設計・実装できる人材」を育成したいと考えています。</p> <p>新しい分野に挑戦したい方、実践的な研究に取り組みたい方を歓迎します。</p>			
研究室連絡先メールアドレス	池田啓 <ikeda *at* se.kanazawa-u.ac.jp>		